





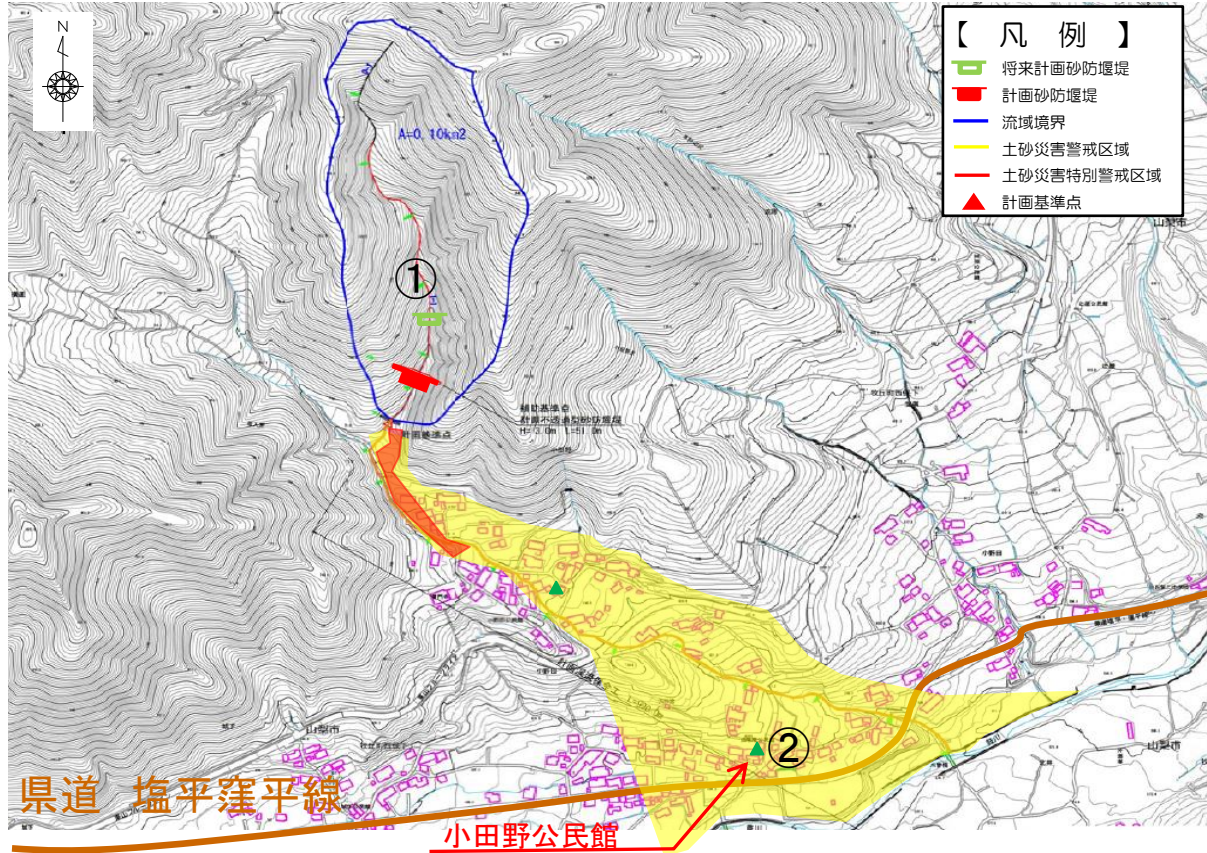


1. 事業説明シート

事業名	砂防事業 [火山砂防事業 (国補)]	事業箇所	山梨市牧丘町西保下	地区名	堀入沢 (ホリイリサワ)	事業主体	山 梨 県																																										
(1) 事業の概要				(3) 事業の妥当性評価																																													
①課題・背景 本溪流は、流域面積0.1km ² の土石流危険溪流である。流域内は崩壊や溪岸浸食が進行し、溪床には不安定土砂、転石が堆積しており、台風や集中豪雨時には土石流発生の危険が高まっている。また、上流右岸側には小規模な地すべりが存在し、保全対象には人家49戸、指定緊急避難場所などが存在しているため、土石流が発生すると甚大な被害を及ぼす可能性がある。このため、砂防堰堤を早急に設置し、土砂災害を未然に防止する必要がある。				妥当 妥当でない ①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 砂防法第5条に基づいており、行政が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
②整備目標・効果 □主要目標 ○土石流被害の防止 ・災害実績 無 整備前 整備後 土砂整備率 0% → 20% 流木整備率 0% → 20% ・重要公共施設の有無 有 国道 (保全対象=人家49戸、県道、市町村道等)				②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 砂防法第6条に基づいており、砂防管理者の県が行うことが妥当 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
□副次目標 — □副次効果 ○被災時の被害波及の防止				③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>総事業費</td> <td>500 百万円</td> <td>工期</td> <td>R3~R1 2</td> <td>基準年</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>費用</td> <td>408 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="3">571 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>408 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="3">51 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="3">35 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="3">50 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>百万円</td> <td>その他※</td> <td colspan="3">435 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">B/C</td> <td colspan="4">1.4</td> </tr> </table>				総事業費	500 百万円	工期	R3~R1 2	基準年	R2	費用	408 百万円	便益	571 百万円			建設費	408 百万円	一般資産被害抑止	51 百万円			維持管理費	百万円	人身被害抑止	35 百万円				百万円	公共土木施設等被害	50 百万円				百万円	その他※	435 百万円			B/C		1.4			
総事業費	500 百万円	工期	R3~R1 2	基準年	R2																																												
費用	408 百万円	便益	571 百万円																																														
建設費	408 百万円	一般資産被害抑止	51 百万円																																														
維持管理費	百万円	人身被害抑止	35 百万円																																														
	百万円	公共土木施設等被害	50 百万円																																														
	百万円	その他※	435 百万円																																														
B/C		1.4																																															
				※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は1.0を超えており、経済効率性は確保されている																																													
(2) 整備内容				④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
①整備内容 堰堤工 1基 H=13.0m L=51.0m				流域の規模、地形、地質等から判断して最も効果的である																																													
②着手年度 令和3年度 ③完成見込年度 令和12年度				⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
④総事業費 約500百万円 (国費275百万円(5.5/10)県費225百万円(4.5/10))				地形・地質及び流域の状況から土石流対策として最も効果的かつ経済的な砂防施設計画とした																																													
⑤年度別の整備内容 (事業費) 令和3年度 詳細設計・用地測量 10百万円 令和4年度 用地取得・立木補償・地質調査 20百万円 令和5年度 砂防堰堤工事 50百万円 令和6年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和7年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和8年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和9年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和10年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和11年度 砂防堰堤工事 60百万円 令和12年度 砂防堰堤工事 60百万円				⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
※記載内容は見込みであり、確定したものではない。				⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/>																																													
⑥既整備内容・期間・事業費 未整備				総合評価 [貢献度ランク: a]																																													
				(4) 事業位置図等																																													
				<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%; text-align: center;"> 位置図  </td> <td style="width:80%;"> 位置図  </td> </tr> </table>				位置図 	位置図 																																								
位置図 	位置図 																																																

2. 添付資料シート

流域概要図



荒廃状況



小田野公民館 避難場所



正面図

